

牛久自然観察の森へ行ってきました。～その2. 動物が食べる木の実いろいろ植物のタネには、風で遠くに運ばれていくもの、動物に食べられるなどして運ばれるものなどいろいろあります。今回観察した木の実はどうでしょう？

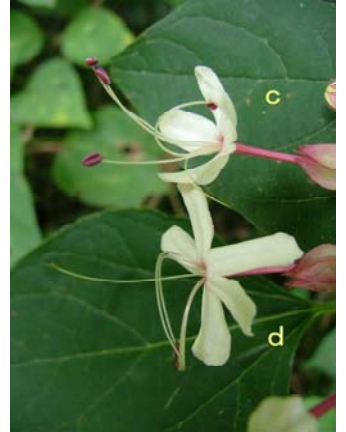
<鳥が好んで食べる> …色鮮やかな果実が多い。糞として出されて芽生える。



①クサギ(クマツヅラ科)

赤紫色のガクと紫青色の果実とのコントラストが美しく、鳥もひかれるようです。花は夏に咲きますが、一つの花のなかで初めは右の写真cのように雄しべが突き出して花粉を出し、その後dのように雄しべがしおれるのに替わって雌しべが突き出し他の花の花粉を受け取ります。葉のつき方も面白い。

2005/10/7 佐原市 →



②コムラサキ(クマツヅラ科)

宝石のように輝く紫の実。花や果実のかたまりをつける柄が、葉の付け根より少し上から出るのが特徴。庭などにムラサキシキブとして植えられているものの中にはこれが多いようです。スペースが少なくなってきたので、あとは名前だけ。



③サワフタギ(ハイノキ科) ④マユミ(ニシキギ科) ⑤ガマズミ ⑥ミヤマガマズミ(ともにスイカズラ科)

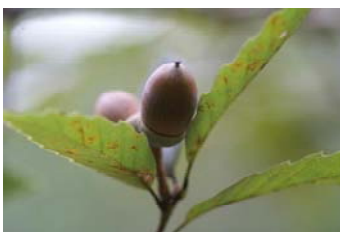


※ ⑤⑥⑦は味見しましたね。

⑤, ⑥は甘酸っぱくて、「リンゴみた〜い。」とか「サクランボみた〜い。」という声も聞かれました。⑦はしょっぱ酸っぱくて、「梅干みたい」という感想が多かったですね。

⑦ヌルデ(ウルシ科)

<その他の動物が食べる>



左は⑧コナラ(ブナ科)：シラカシやクリなどもそうですが、ネズミやリスがかくしておいて後で食べ、食べ残しやかくし忘れが芽生えて仲間の木を増やすようです。



右は⑨イチョウ(イチョウ科)：なんと大昔、恐竜が食べて糞として出されて芽生え、分布をひろげたという説があります。どう思いますか？

[理科支援員 宮内]